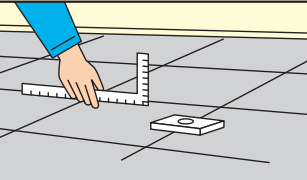
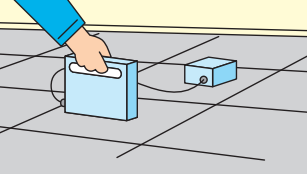
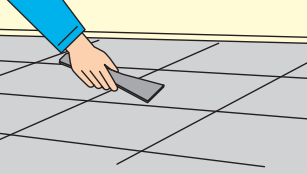
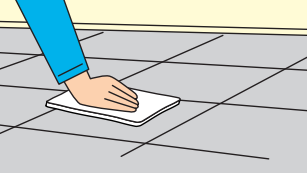


# ビニル床タイルの施工方法

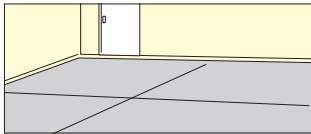
## 施工について

### 1. 下地の点検

下地の善し悪しによって仕上がりが左右されます。下地の点検を行い、不備のないようにしてください。

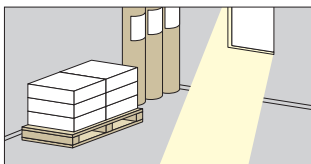
点検項目	チェックポイント	起き得る問題
① 平滑さ 	下地に不陸や目違い、段差、クラックなどがないか。	接着剤が均一に塗布されず、接着不良、ふくれなどが発生。
② 乾燥 	木質下地の場合、合板は1類以上の耐水性のあるものを使用してください。 ▲水分計で下地の含水率を測定して、8%以下であるか確認してください。	下地が十分乾燥していないと、どのような接着剤でも接着不良を起こす。
③ 強度 	モルタル下地で表面の粉ふきや浮きがないか。木質下地できしみやたわみがないか。	施工後、床材の剥離や浮きなどが発生。
④ 汚れ 	ホコリ、油、ペンキなどの下地の汚れが完全に除去されているか。	施工後、床材の剥離や浮き、変色などが発生。

※床暖房下地への施工は避けください。



### 2. 割り付け・墨出し

- 施工現場を実測し、割り付け図をもとにして、割り付け、墨出しをします。



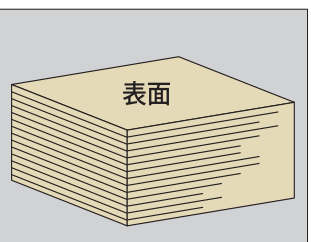
### 3. 材料保管

- 材料保管の善し悪しによって仕上がりが左右されます。  
ビニル系床材は温度による影響を受けやすいので、特に冬季の保管管理は重要です。
- ① 乾燥した平坦な室内に保管し、直射日光は避けてください。
- ② 室内温度10～25℃、湿度75%以下での保管が最適です。



### 4. 材料確認

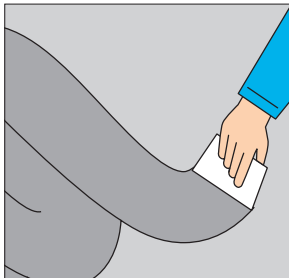
- 品番・ロット番号を確認し、同一場所に他のロットのものが混在しないようにしてください。



### 5. 養生

- ▲ ビニル系床材は温度による影響を受けやすいので、特に冬季の養生管理は重要です。養生を十分に行わずに施工しますと、施工後温度差による材料の伸びによって突き上げなどを起こします。
- 10℃以上に保たれた室内の平滑な場所でタイルを箱から取り出して、表面を上にして1～2日間程度積み重ね、クセを取り除いてください。特に冬季はクセが取れにくいので、必ず箱から出してください。

## 6. 接着剤塗布

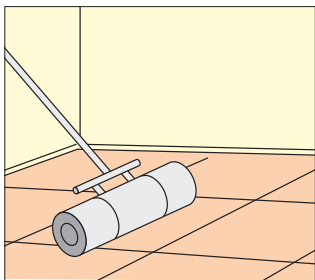


- 接着剤はアドヴァンの専用接着剤を推奨します。
- 使用前に接着剤の容器に記載されている事項をご参照ください。
- 木下地など通気性の少ない下地は接着剤の溶剤が抜けにくいいため、残留溶剤による塩ビタイルの伸びを引き起こし、施工後の突き上げを発生させることがあります。その場合は、接着剤の塗布量を標準より少なめにし、オープンタイムを長めにとってください。
- アドヴァン専用接着剤以外の接着剤をご使用の際のクレーム等はお受けできません。
- クッションフロアなどの既存床の上に重ねて施工しないでください。施工後、突き上げ、剥離などの問題が発生することがあります。
- 施工は専門業者にご依頼ください。
- 下地の含水率が8%以下であることを確認してください。

### 専用接着剤

工法	下地	接着剤
一般工法	モルタル・コンクリート	アクリルアドボン (AB-300A)
耐湿工法	下地 (含水率8%以下)	ウレタンアドボン (AB-500U)

## 7. 貼り付け・圧着



- 墨に沿って中心点から貼り、目違い、目地ずれのないように、ハンドローラー等で圧着しながら貼り付けます。
  - 接着可能時間内に45kg以上のローラーなどでよく圧着します。
  - 接着剤が硬化するまでは、冷暖房による急激な温度変化や直射日光は避けてください。
- ⚠️ ビニル床タイルは、急激な温度変化によって伸び縮みする性質があります。また、接着剤は低温ですと硬化が遅れ、温度が変化した時の材料の伸縮を抑えるだけの接着力が得られないため、突き上げなどの原因になります。さらに、店舗など窓の大きい場所付近に施工する場合の直射日光や冷暖房による急激な温度変化にも十分注意してください。特に冬季は寒さによりタイルが縮んでいます。施工後、室内との温度差によるタイルの伸びを予測し、貼り付けは強く突きつけず、名刺1枚程度すかして軽く突きつけるように施工してください。
- ⚠️ 壁際などの端部は、隙、浮きのないように納まりよくカットし、ハンドローラー等で入念に圧着してください。圧着不足は接着不良につながり、後日突き上げ、剥離などを引き起こす原因になります。

## 8. 目違い修正

- 接着可能時間内に目立つ目違いはハンドローラーで圧着、調整してください。接着剤が硬化してからでは修正できません。

⚠️ 白をはじめ、比較的うすい色のタイルは、目地のすき間が名刺1枚分程度あっても目立ちます。製造上の寸法誤差や下地不陸のためにすき間が発生する場合があります。必ず目違い修正して、すき間がなるべく目立たないようにしてください。

# ビニル床タイルのメンテナンス方法

ビニル床タイルを美しく保つには汚れの予防と日常清掃に配慮する必要があります。

日常生活の中で必ず汚れは発生します。

どのような床材にも日常のメンテナンスが必要になります。

ビニル床タイルの美観や快適な環境でご使用いただくために、日々のメンテナンスが重要になってきます。

汚れ予防清掃と日常清掃をすることで床材を長持ちさせることができます。

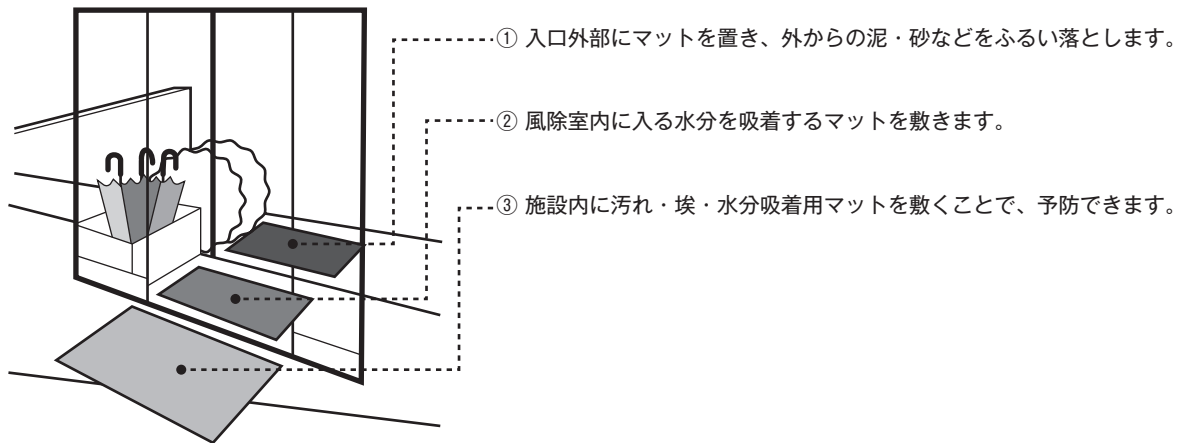
## 汚れ予防と日常の清掃について

### ■ 予防清掃

室内の汚れの80%は外から運び込まれます。靴底に付着した泥・砂などが施設内に持ち込まれ、汚れが拡散します。エントランスには以下の**3段階の床マット**を設置することが重要です。

- ① まずは、玄関の外に、雨・風耐用型のマットを置きます。
- ② 次に風除室内に雨の日の水分まで吸着するマットを敷きつめます。
- ③ 最後に施設内に汚れ・埃・水分吸着用マットを敷きます。

※ 足拭きマットが汚れて泥・砂が飽和状態のまま放置すると逆にマットの汚れが内部に入ってきますので、マットは常に清掃してください。足拭きマットは毎日掃除機と月1回の水洗いをおすすめします。



### ■ 日常の清掃

日常清掃は汚れがひどくなる前に、頻繁に行うことで美観が保たれます。

ホウキや掃除機で床面のホコリや砂を取り除いてから、かたく絞った雑巾やモップで水拭きをして乾燥させてください。

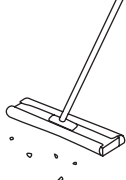
汚れが落ちにくい場合は、水または洗剤を含ませたモップやウエスなどで拭き取ってください。

水分が残ったまま歩行すると汚れの範囲が広がりますのでご注意ください。

また、水分の拭き残しがあると転倒事故やケガの原因にもなりますのでご注意ください。

### ■ ホコリやゴミの除去

クロスワイパー



ほうき



掃除機



クロスワイパーやほうき、掃除機でゴミやホコリ等を除去します。その際、奥のほうから入口に向かって汚れを除去してください。

※ポリッシャーや自動床洗浄機が入らないコーナー部や壁際は、水または洗剤をつけ固く絞ったモップで清掃してください。

使用後は洗剤をモップなどで水拭きをし、汚れを含んだ洗剤成分を完全に除去し、よく乾燥させてください。

※洗浄で使用する水や洗剤の量が少ないと、床面に不具合を発生させる恐れがありますのでご注意ください。

※床材の状況に応じたパッドをお選びください。

## ■ しつこい汚れが残る場合

日常の清掃をしても、汚れが除去できない場合があります。  
 落ちにくい汚れは、水または洗剤を含ませたモップまたはきれいな雑巾で拭き取ってください。  
 表面に拭き残さないように水拭きし、よく乾燥させてください。  
 部分的な汚れはスポンジやブラシなどで汚れを除去してください。  
 広い面積の場合は、洗剤を使用しポリッシャーや自動床面洗浄機で洗浄してください。  
 汚水は床面に残らないようにウエスで拭いて水分が残らないようにしてください。  
 清掃後、床面が乾くまでよく乾燥させてください。完全に乾燥するまでは、通行を禁止してください。

**⚠ 注意** …… 床洗浄機のパッドは床材の状況に応じたパッドをお選びください。

## ■ 汚れの除去

モップ



雑巾



自動床面洗浄機



モップや固く絞った雑巾を用いて水拭きします。汚れがひどい場合は中性洗剤を使用してください。

床面積の大きな部位では、洗浄力の優れた自動床面洗浄機を使用していただくことより効果的です。

## ■ 定期メンテナンス

日常メンテナンスで除去できない汚れが堆積してきたら、**定期メンテナンス**を行ってください。

- ・ クロスワイパーや掃除機などで床面を掃除し、ゴミやホコリを除去してください。
- ・ 希釈した洗剤を床面にモップで塗布し、ポリッシャーで洗浄して汚れを取り除きます。掃除機で汚水が残らないようよく清掃してください。
- ・ きれいな水で床面をモップや雑巾で水拭きし、よく乾燥させてください。水や洗剤がタイル目地に入り込まないように、注意してください。

## マットPU仕上げについて

マットPUなら汚れが付きにくく、また汚れがついてもお手入れが簡単です。  
 ワックスは不要ですのでランニングコストを抑えられます。

マットPU仕上げ	汚れ付着前	汚れ付着直後	汚れ拭き取り後	だから ワックスメンテナンス 不要!
ワックス メンテナンス 軽減商品	汚れ付着前	汚れ付着直後	汚れ拭き取り後	だから ワックスメンテナンスが 必要!

※汚れの状況によっては、ワックスメンテナンスの実施をおすすめします。

## [床材を長持ちさせるために]



●外部からの土や砂の持ち込みは、床材表面を傷つけて摩耗を早めるなどの原因になります。出入口にはマット類などの設置が必要です。



●ハイヒールや家具などで局部荷重を受けますと、圧痕が残る可能性がありますので注意してください。



●傘などからの雨水は、目地や継目から浸透し、剥離の原因となります。出入口にマット類、傘立て等を用意し、雨水が持ち込まれないようにしてください。雨水が持ち込まれた時は、直ちに除去するようにしてください。



●タイヤのゴムや椅子のキャスターのゴムなどによって、ビニル床材の表面が変色することがありますので、間に保護板を入れてください。